

◎そしてこの条例の期限が、5年間の时限でR7年3月31日失効。これは、工業団地の企業誘致条件を横滑りさせ、元々の宿泊奨励金の条件、1億円投資を2億円にハードル上げる一方、収容人数は50人から20人に下げた内容。

超好条件にした理由は、新幹線開業等で収容人数を上げる目的との話。ただ問題は、この支援が一部への超優遇策で公平性に欠けているとの見方が多い。企業誘致と同条件というが、工業団地等の進出企業は市内業者とライバル関係になく、逆に関連企業を創出するなど影響は異なる。

しかも、宿泊人数を20人増加させて、コロナで50人の宿泊施設が減れば、税金投入の意味はない。

清本跡地の開発の状況

是非とも、コロナ禍で、大正・昭和から続く市内宿泊業者に、新規に肩入れのみでなく、全体の収容人数のことを考えて、市長には支援してもらいたいと願う。

不公平と話題の宿泊奨励

不平等と宿泊施設設備整備 話題の中身

県事業の最新まとめサイト

R3年①
4月発行

【山内町カヤバ跡切り改良】
今年度3月に設計が終わり、
地の交渉に入るらしい。

六角川整備計画見直し

御船小	洋式	和式	1基当り	児童数
現在	11	39	58人	635人
改修	27	20	24	635

朝日小	26	24	17	430
武内小	6	19	21	128
橘	6	13	25	147
山内東	7	29	29	206
山内西	9	25	26	238

洋式 平均 1 基当たり 16 人を越える学校

**学校トイレの
洋式化**

16増も道半ば！

県事業の最新まとめサイト

平成24年8月に、六角川水系河川整備計画を国が30年間の期間で策定していた。その柱は、牛津川の遊水池と、六角川調整池の整備で、牛津川遊水地についてはR元年水害の激特事業で予算も付

で、これができれば、北方町新橋辺りの水もスムーズに流れ、水害が軽減されると思う。場所は大町近くだが、土地は白石町との話で、武雄市が事務局を持つ、六角川改修期成同盟会6市町で早急に具

沖永踏切り拡幅へ（設計に）

のための設計負担金880万円を
JR九州に支払う。今後どう進む
かは、設計によりどの程度の工事
負担などが分かつて、整備するか
決めるとの話で、まだ決定ではない。



沖永踏切り、ジャリの部分が一時拡大跡

ふるさと納税が 3倍増 12億円に

コロナ禍で室内にいる時間が多いため、市へのふるさと納税額が当初見込みの、4億円から、8億円増の12億円に補正された。

先の総務省の見直しで、税の証明書発行以外の費用を50%以内としたため、6億円は市に入る。

残り50%の内分けは、参加店約60店に対し、売り上げに対し、送料・税込みで30%3億6千万円を支払う。

次に、委託会社（大平商会＝北方町）に8%の9600万円を支払う。次に、ポータルサイトと書いてネットの受付け、ふるさとチョイスは5%、ふるなびは10%などで、約8割はふるさとチョイスなので、単純計算で6000万円、次にカード会社に1～2%で、2400万円程度。他市では、送料を市の経費で払うところや、委託会社と4.5%で半分程度で契約しているところもある。

若木町公民館前 防災チャンネルから 消えるかも

防災のチャンネル画像に、若木公民館前が出てくるが、その原因がこれまで私はよくわからなかつた。

公民館前の小川の鉄板橋の下に板の堰があり、それが原因らしい。

今、498号バイパスができるまで、鉄板橋が除去されるタイミングで、市が水量によって流れる転倒堰に交換する。

これで、公民館上流からの水がスムーズに流れるものと思う。

**ふるさと納税が
3倍増 12億円に**

「新野球場」工事着手

新幹線県負担金 今年度はスムーズに！

「意見」の公表

最近、市の重要な計画への市民参加や論議が低調と思う。そんな中、素晴らしいと思ったのが、市ホームページに、市へのご意見とその回答があり、分かりやすくて、できていた。ただ、それが平成30年までしか掲載がない。

そこで、クリックする「ご意見」のアイコンを大きくして分かりやすくしては、と今議会提案。

市の答えは、個人的なものも多く、掲載していないとのこと。

そこで調べると、平成30年45件R元年45件で今R2年、今現在66件があり、本人には、返答しているとの話。私が今表示されているH30年の質問や回答を見ても、「いくある質問」のように、本当に役立つもの。

ただそこには基準も記されていて、それに従い公表すべき。

ゴミ処理費

R1年度より、ゴミ処理費用が約2倍に急に跳ね上がることが云された。私も忘れていたのだが、原因は、西部ゴミ処理センター（毎万里市松浦）の運転の委託料が上がるため。センター操業から、3年間は、機械設備についてメーカー保証があるために、運転費用だけの委託契約だった。その後12年は、故障の修理代を含めての包割委託を結ぶ方式にしたため、契約額が跳ね上がった。

その当時も、通信で、同様な施設で、運転のみを契約している例や、西部を、建設したメーカー関連会社の1社参加の入札になつたことへの検討が十分なのかの疑問も提していた。一方、包括委託の料金としては、15年程度の契約額が、建設費程度が目安とも聞くが、西部の場合建設費は143億円で、

モリモリ応援便 5万円350人を見込む
国の定額給付金10万円の対象外の4月28日以降、R3年3月31日に生まれた子供に支援する自治体もある。武雄市は10万円現金給付ではなく、モリモリ応援便として5万円分の商品を送った。(内訳は)○2万円は商品券で、紙おむつや消毒液なども買えるもの
○3万円は、食材を送付した。
①佐賀牛を15000円分ナチュラルフレーズに発注、②若楠ボーケを5000円宮地ハム、③豆腐を5000円平川豆腐、④橋産米を5000円橋産と扱う小城の業者に発注した。R3年3月までは、出生届時に受け付ける。

さが西部クリーンセンター運転費		
	H30年 前3年18億円	R1年 後12年165億円
市負担金	2億3,347万円	4億91万円 (災害ゴミを含む)
一世帯	1万2,802円	2万1,702円

R2 高架区画整備

理事業の総括

その1

げるくらい活発で、当時国から県に来ていた、原田邦彦土木部長が岐阜駅の高架化に携わったとの話で、訪問して意見交換した。部長は、下水道整備など市政を辛辣に批判してきた。委員の中には、あまりにも無礼なので抗議して謝罪を求めるべきとの声も。

私は、事実なので、あえて反発を買っても実現のために本音の話をしようとの考えではと思った。

そこで、原田土木部長が提案したのが、実現のための分割実施案。それは、認可は、当所の25haで取つてているので、それを変更する」と、また手続きが始まると、分割して実施するとし、また、区画整備の範囲は、高架事業に必要な土地を生み出すだけの8haと超コンパクトな究極の案だった。後で調べると原田氏出向はH8年度のみで、貴重な出会いだった。

【8ha分割実施案】

理事業の総括

その1